令和６年度

事 業 報 告 書

社会福祉法人きらめき会

特別養護老人ホーム　八潮いこいの里
小規模多機能型居宅介護　横浜いこいの里
特別養護老人ホーム　若葉いこいの里

1.　はじめに

==========法人理念==========

笑顔

「利用者様への笑顔」　「ご家族様への笑顔」
「地域への笑顔」　「自分への笑顔」

==========ビジョン＝==========

「地域を笑顔にする」

地域の人と

コミュニティを構築し
地域に愛される施設を目指す

==========運営方針==========

一.　基本に忠実であること
一.　積極的に物事を考える事
一.　心のこもった行動をすること

■法人事業概要

◇事業所名
　特別養護老人ホーム　八潮いこいの里
　〒340-0824　埼玉県八潮市垳 526-1
◇事業開始日
　平成 30 年 4 月 1 日
◇事業内容
　介護老人福祉施設　定員：従来 30 名　ユニット 90 名　計 120 名
　短期入所生活介護（空床利用）

◇事業所名
　小規模多機能型居宅介護　横浜いこいの里
　〒245-0015　神奈川県横浜市泉区中田西 4 丁目 2 番 43-2
◇事業開始日
　平成 22 年 4 月 1 日
◇事業内容
　小規模多機能型居宅介護
　登録定員：29 名　（内通所：17 名　泊り：8 名）

◇事業所名
　特別養護老人ホーム　若葉いこいの里
　〒264-0021　千葉県千葉市若葉区若松町 531-156
◇事業開始日
　令和 3 年 4 月 1 日
◇事業内容
　介護老人福祉施設　定員：80 名
　短期入所生活介護　定員：20 名　　合計：100 名

◇事業所名
　特別養護老人ホーム　横浜旭いこいの里
　〒240-0012　神奈川県横浜市旭区西川島町 118 番 13 他 20 筆
◇事業開始日
　令和 7 年 11 月 1 日　開所予定
◇事業内容
　介護老人福祉施設　定員：200 名
　短期入所生活介護　定員：　20 名　　合計：220 名

2.　令和６年度　事業報告について（1 年を振り返って）

　はじめに、社会福祉法人きらめき会を温かく見守り、支えていただいております皆様に心から御礼を申し上げます。令和６年度の事業報告書がまとまりましたので、ここにお届けいたします。

2024 年１月１日に発生した能登半島地震は、石川県を中心に甚大な被害をもたらしました。震源地に近い珠洲市や輪島市では、最大震度７を記録し、多くの住宅が全壊または半壊し、津波や土砂崩れ、火災などが発生しました。輪島市の朝市では 200 棟以上が焼失し、約５万平方メートルが焼失するなど、地域の生活基盤が一瞬にして奪われました。さらに、電気や水道、通信といったライフラインが途絶え、道路の亀裂や陥没、土砂崩れなどが救援活動を阻む状況となりました。これにより、30 カ所以上の集落が一時孤立し、被害状況の全容が把握できないまま、住民の安否確認が難航しました。我々は、能登半島地震の発生を受け、被災地への支援活動を迅速に開始しました。災害ボランティアを派遣し、避難所での支援活動や支援物資の提供を行いました。特に、被災者の心のケアや生活支援が重要であると認識し、地域の福祉施設や行政と連携しながら、支援活動を展開しました。

　また、世界的な情勢の変化も影響を及ぼし、ウクライナとロシアの間で続く戦争による世界の不安定さは、福祉事業の経営環境に大きな影響をもたらしています。世界経済やエネルギー市場に深刻な影響を与え、エネルギー価格の高騰や食料供給の不安定化が進行しました。加えて、円安の進行は、食材や介護資材の更なる値上げにもつながっていますし、外国人職員の人材確保を難しくさせています。物価上昇率を見れば、介護報酬のアップは実質アップにつながっていません。施設整備をすすめているなかでは長期金利の動向を注視しなければなりません。激変する社会情勢に対して、非常に高度な経営の舵取りが求められています。

その中で、地域社会との連携を深め、地域包括ケアシステムを推進するための取り組みを強化しました。介護職員の待遇改善や働きやすい職場環境の整備にも注力し、職員の定着率向上を目指しました。また、地域住民や行政との協力のもと、福祉サービスの充実を図りました。世界的な情勢の変化や自然災害の影響を受けながらも、地域の方々とともに支え合い、利用者様に安心・安全なサービスを提供することに尽力してまいりました。今後も引き続き変化する社会情勢や自然災害に柔軟に対応し、地域福祉の向上に貢献して参りますので、今後とも変わらぬ応援をいただきたくお願い申し上げます。

令和７年４月

社会福祉法人きらめき会
理事長　久岡　重樹

特別養護老人ホーム　八潮いこいの里

1.　職員状況

(R7.3.31 現在)

	施設長	事務長	副施設長	介護支援専門	生活相談員	管理栄養士	機能訓練指導	看護師	介護職員	事務員	フリー夜勤	清掃員	合計
職員数	1	0	0	3	2	2	1	3	70	4	2	4	92

※職員数は非常勤（パート職員）を含む

■令和６年度職員雇用推移　※R7.3.31 職員在籍数⇒92 名

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
常勤	採用者数	3	1	2	1	2	常勤
	退職者数	0	0	1	1	1	0
非常勤	採用者数	1	2	0	0	0	非常勤
	退職者数	1	0	1	1	1	0
		10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
常勤	採用者数	1	1	0	0	4	常勤
	退職者数	2	3	3	3	2	1
非常勤	採用者数	0	0	0	1	2	非常勤
	退職者数	0	0	1	0	1	1

■総評

		合計
常勤	採用者数	20
	退職者数	24
非常勤	採用者数	6
	退職者数	7
離職率	*起算日 (R7.3.31 現在) ※常勤職員で計算*	*31.0%*

年間通しての離職率は約３０％と非常に高い数値となっており、それに合わせて採用も多く進めていた。介護職員の他に看護職員が安定せず、看護職員は特に１０月～２月にかけて５名の退職があった。その間は本格的に派遣や介護・看護専門の単発バイトで募集をかけて一時的な人員補充を行っていた状況となっている。令和６年度末には介護は紹介会社と単発バイトからの直接採用、看護はハローワークと一般応募、単発バイトからの直接採用を経て充足することができた。

離職については人間関係が主に上げられるが、既存職員の指導体制も見直していかなければならない。相談しやすい環境、職員によってブレのない指導をするといった環境づくりに着手し入職者を手放さないような体制をつくっていくことが令和７年度は求められてくる。

2.　会議・委員会・研修

会議名	参加者	実施状況	内容
経営会議	施設長/役職者	12 回/年	・施設運営に関する業務進捗・結果等の報告 ・検討事項の意思決定 ・運営に関する問題事項の改善論
リーダー会議	役職者/ユニットリーダー	12 回/年	・役職者からの連絡事項　・ディスカッション ・各専門職からの連絡事項 ・経営会議決定事項の周知
ユニット会議	ユニットリーダー/介護職員	12 回/年	・ユニットの問題定義・解決案 ・ユニット推進のための勉強会 ・24 時間シートの作成
給食会議	役職者/ユニットリーダー	12 回/年	・委託業者の責任者を交えた問題定義・解決案 ・介護現場との連携確認
ケアマネ相談員会議	役職者/ケアマネ・相談員	12 回/年	・入居状況や入院者の確認　・現状課題の検討 ・待機者の確認 ・営業状況の確認
医務会議	役職者/看護職員	12 回/年	・医務の中での問題定義・解決案 ・業務改善策の模索

委員会	実施状況	内容
入所判定委員会	12 回/年	サービスを受ける必要性が高いと認められる者を優先的に入居させるために、入居決定過程の透明性・公平性を確保し判定を行う。
事故防止検討委員会	12 回/年	事故報告、ヒヤリの件数周知。再発防止のため事例検討会を行う。
褥瘡予防・感染予防委員会	12 回/年 +随時	褥瘡ができるまでの原因を探り、ブレーデンスケールを行う。 感染症及び食中毒予防蔓延防止のために研修や勉強会を行う。 コロナの感染対策のため、随時開催をした
エンジョイ委員会	12 回/年	施設全体行事や、クラブ活動の立案・実践を行う。
衛生管理委員会	12 回/年	職員健康管理やストレスチェック行い健康推進を行う。
身体拘束適正化・高齢者虐待防止委員会	5 回/年	どんなことが拘束になるのか。再復習と共通認識を図った 高齢者虐待のマニュアル作成。委員会内の勉強会の開催
看取りケア委員会	12 回/年	看取りケアの見直しと周知
自立支援促進委員会	12 回/年	24 時間シートの作成、ケアの質の向上、加算算定に向けた勉強会の開催

■スキルアップ（内部）研修の開催

4 月	外国籍職員向け「やさしい日本語」
5 月	認知症とは
6 月	
7 月	
8 月	虐待防止について
9 月	

10 月	身体拘束適正化
11 月	
12 月	
1 月	プライバシー、倫理、法廷順守虐待防止、身体拘束、感染症予防
2 月	ハラスメント防止、事故発生時、緊急時対応、災害時対応
3 月	事故発生防止、介護予防、褥瘡対策、ターミナルケア、医療的ケア

■外部研修・セミナーへの参加

4 月	E ラーニング
5 月	
6 月	
7 月	E ラーニング
8 月	
9 月	

10 月	E ラーニング
11 月	
12 月	
1 月	E ラーニング
2 月	
3 月	

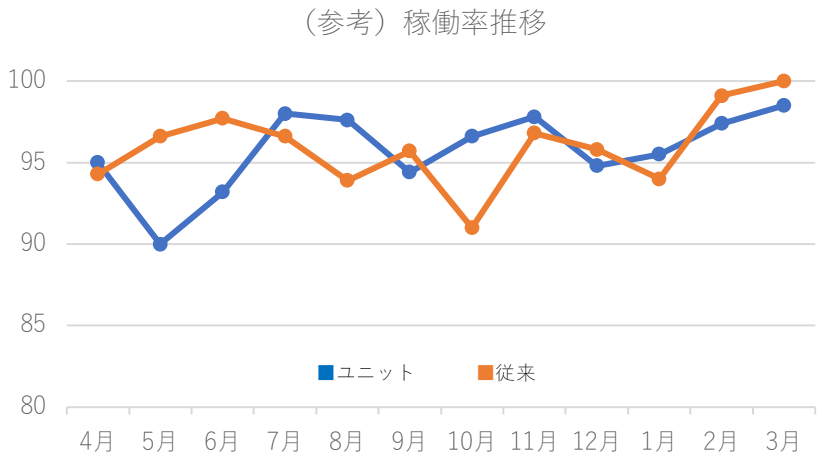
3. 行事・レク

4 月	お花見
5 月	
6 月	
7 月	
8 月	夏祭り（地域も参加）
9 月	敬老会
10 月	ケーキ工場直売、ハロウィン、八潮市民祭り参加、フラダンス、小学校運動会見学会
11 月	
12 月	
1 月	初詣、施設内で参拝
2 月	小学校との交流会、吹奏楽演奏ボランティア
3 月	

4.　実績報告

■稼働率推移・・・安定した経営を目指すため、年間常時 98%以上

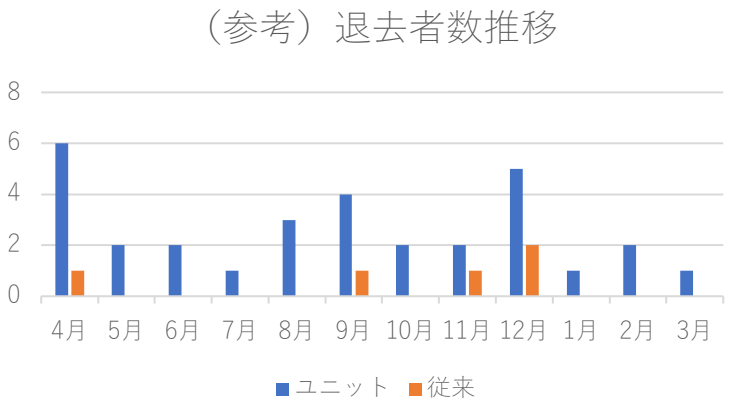
		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
ユニット	延べ日数	2,565	2,512	2,518	2,735	2,724	2,550
(定員:90 名)	稼働率	95.0%	90.0%	93.2%	98.0%	97.6%	94.4%
従来	延べ日数	849	899	880	899	874	862
(定員:30 名)	稼働率	94.3%	96.6%	97.7%	96.6%	93.9%	95.7%
全体合計	稼働率	94.8%	91.6%	94.3%	97.6%	96.7%	94.7%
		10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
ユニット	延べ日数	2,696	2,643	2,646	2,667	2,455	2,737
(定員:90 名)	稼働率	96.6%	97.8%	94.8%	95.5%	97.4%	98.1%
従来	延べ日数	847	872	891	875	833	930
(定員:30 名)	稼働率	91.0%	96.8%	95.8%	94.0%	99.1%	100%
全体合計	稼働率	95.2%	97.6%	95.0%	95.2%	97.8%	98.8%



R6 年度実績		合計
ユニット	延べ日数	31,460
(定員:90 名)	稼働率	95.7%
従来	延べ日数	10,511
(定員:30 名)	稼働率	95.9%
全体合計	稼働率	95.8%

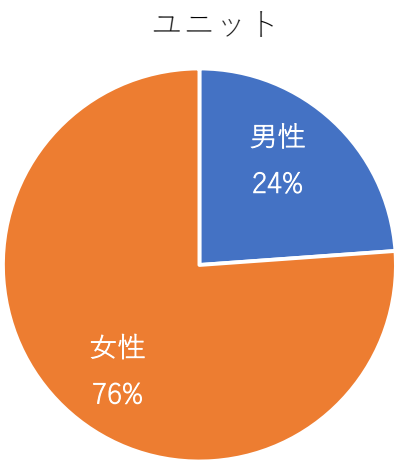
■入退去状況

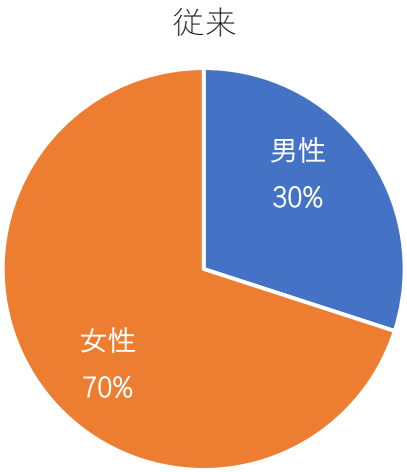
		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
ユニット	入居	4 名	1 名	4 名	2 名	3 名	1 名
	退去	6 名	2 名	2 名	0 名	3 名	4 名
従来	入居	0 名	1 名	1 名	1 名	0 名	1 名
	退去	1 名	0 名	0 名	0 名	0 名	1 名
		10 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月
ユニット	入居	5 名	2 名	1 名	4 名	2 名	2 名
	退去	0 名	2 名	5 名	1 名	2 名	1 名
従来	入居	0 名	4 名	0 名	1 名	1 名	0 名
	退去	2 名	1 名	2 名	0 名	0 名	0 名



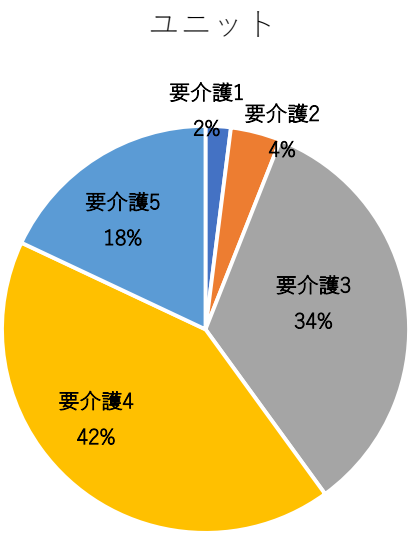
R6 年度入退去者		合計
ユニット	入居	32 名
	退去	31 名
従来	入居	8 名
	退去	8 名

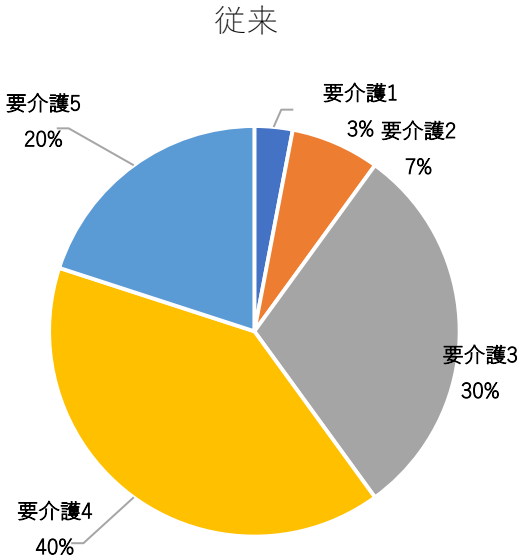
■入居者要介護割合（R7.3.31 現在）



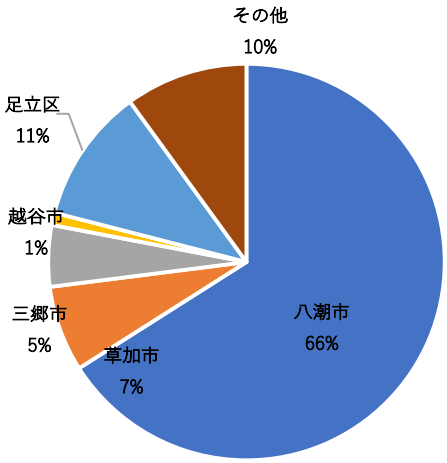


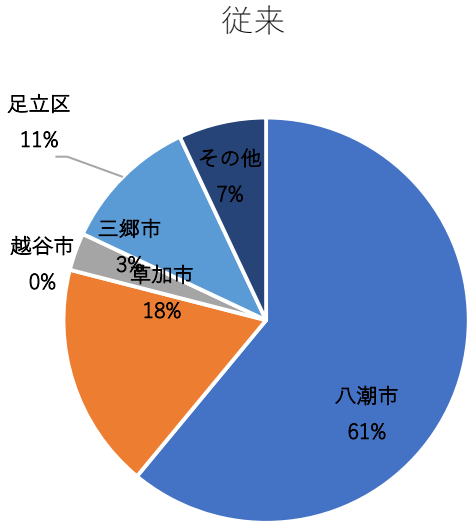
■入居者要介護割合（R7.3.31 現在）



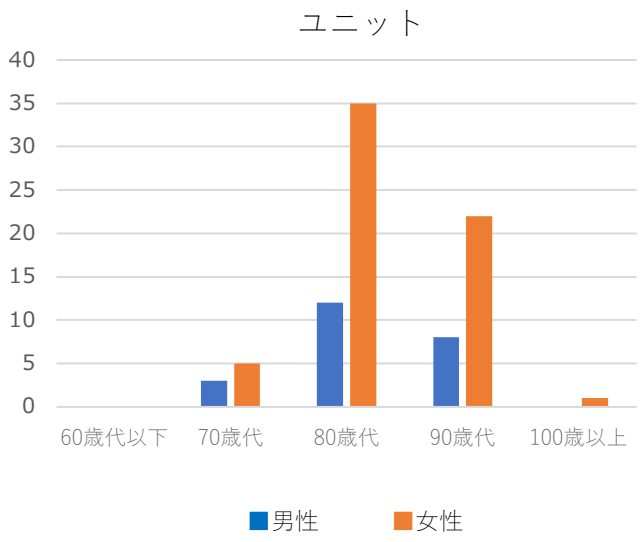


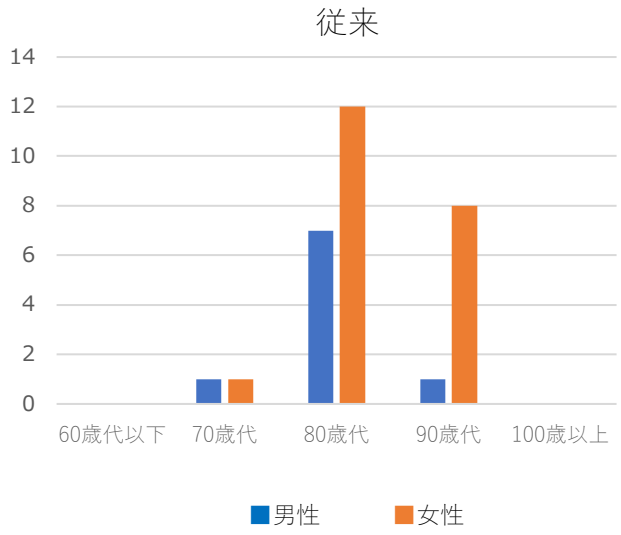
■保険者別入居者割合（R7.3.31 現在）





■入居者男女年齢別状況（R7.3.31 現在）





■総評

令和６年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり稼働率が思うように伸びなかった。その中でも年間通しての入所者数が退所者数を上回っており、令和６年１１月以降は９５％以上の月が継続し、その水準のまま令和７年度を迎えることができている。

施設全体どの部署を見ても属人化の傾向にあり、特に新入職員に対しては指導マニュアルが明確化されておらず行き当たりばったりの指導となってしまっている。また、令和６年度の離職者が約３０～３５名となっており離職率は約３０％と高い水準となっている。これも新入職員の受け入れ態体制に起因していると思われるため令和７年度はマニュアルづくりに着手していく。

職員関係は他にも令和６年末～令和７年３月までに介護・看護に退職者が多く目立っており、人材紹介・派遣職員・単発バイトといった人員充足のための費用がかかっていた。特に医務に関しては正職員が定着していない期間が半年間あったため、医務と多職種との連携や医務内の業務の見直しができていない状況となっている。

令和７年度は役職者へ求めることや、その役職者が持たなければいけない業務、役職者としての考え方を共有できるような研修も行い意識を高めていく。そういった役職者が増えることで一般職も安心して業務を行うことができ、意見も言いやすくなり離職が増えない環境づくりが出来上がっていくと考える。

さらに介護施設で勤務をすること、「介護とは」というところまで掘り下げて共有していくことで介護技術・知識の向上が望める。今まで以上に多職種、そして施設全体で共有・発言できる場を多く設けていき活発な意見交換ができるように工夫していく。

今年度は「ともに笑顔かがやく施設づくりを」というスローガンを掲げている。そのスローガンを達成できるよう職員全員一丸となって令和７年度を価値ある年度にしていく。

小規模多機能型居宅介護　横浜いこいの里

1. 職員状況

令和 7 年 3 月 31 日現在

	管理者	主任	リーダー	看護師	介護職員	運転手	介護支援専門員	合計
職員数	1	0	1	1	12	2	1	18

■雇用形態内訳
常勤職員： 6 名
非常勤職員：12 名

※職員数は非常勤（パート職員）を含む

■令和 6 年度職員雇用推移

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
常勤	採用者数	0 名	1 名	0 名	2 名	0 名	0 名
	退職者数	0 名	0 名	0 名	1 名	1 名	0 名
非常勤	採用者数	0 名	0 名	0 名	0 名	0 名	0 名
	退職者数	0 名	0 名	0 名	0 名	0 名	1 名
		10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
常勤	採用者数	0 名	1 名	0 名	0 名	0 名	0 名
	退職者数	0 名	0 名	0 名	0 名	0 名	0 名
非常勤	採用者数	0 名	0 名	0 名	0 名	0 名	1 名
	退職者数	0 名	0 名	0 名	0 名	0 名	0 名

■総評

離職率が長年にわたり低い職場だったが、今年度は 3 名の退職者が出た。

特定技能者（インドネシア）が就労していたが一身上の都合により退職。正職員 2 名が 3 月末にて同時退職。1 名は再雇用も含めて 12 年勤務リーダー、主任の業務にもついていたが、持病が悪化しドクターストップがあり退職。もう 1 名も 12 年勤務、主任になり 3 年目だったが、自己都合により突然の退職となる。

		合計
常勤	採用者数	0 名
	退職者数	3 名
非常勤	採用者数	1 名
	退職者数	0 名
離職率	*起算日* *※R7.3.31* *※常勤職員で計算*	*16.6%*

次年度は今在籍している職員のワークライフバランスの良さを追及し、職員意見交換を前年度同様に実施していく予定である。

2.　会議・委員会・研修

会議名	参加者	実施状況	内容
経営会議	法人本部/管理者	12 回/年	・施設運営に関する業務進捗・結果等の報告 ・検討事項の意思決定 ・運営に関する問題事項の改善論
運営推進会議	泉区役所・町内会長・民生委員・管理者、ケアマネ	6 回/年	・活動報告　・地域への情報提供 ・登録者の状況　・運営方針
全体会議	全職員	24 回/年	・研修参加の発表 ・モニタリング
サービス会議	主任/介護職員	12 回/年	・係の役割が行われているかの確認

■スキルアップ研修の開催

4 月	福祉施設における接遇とは何か	10 月	入浴時の事故を防止する為に
5 月	介護事業とは	11 月	人間の尊厳を取り戻す為に
6 月	報告、連絡、相談の能力アップ	12 月	ヒヤリハット報告書
7 月	転倒について	1 月	医療、福祉関係に属す職員の基礎
8 月	高齢者の自立した生活をサポート	2 月	感染症対策
9 月	誤嚥、誤飲を防止するために	3 月	アクシデント

■外部研修・セミナーの参加

4 月		10 月	コロナ後における地域の取り組み方
5 月		11 月	
6 月		12 月	
7 月	ターミナル期	1 月	感染症について
8 月		2 月	ストマ、パウチ交換
9 月		3 月	ターミナルについて

3.　行事・レク

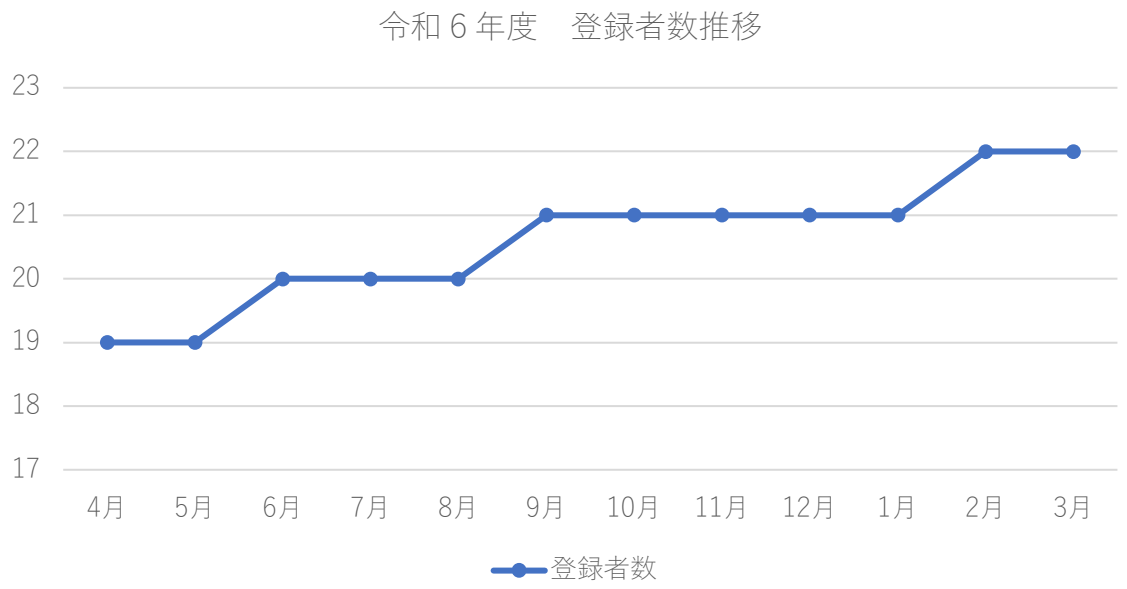
4 月	お花見お食事会（お花見お弁当）誕生日会　午後よりお花見ミニゲーム
5 月	母の日、こどもの日　イベント　誕生日会　こいのぼりに見立てたおやつ
6 月	父の日（プレゼント）ミニ喫茶店　誕生日会、
7 月	七夕まつり、七夕デザート、誕生日会
8 月	夏祭り屋台を想定開催。誕生日会
9 月	敬老の日のお祝いの食事会をフロアーで開催。紅白饅頭提供。誕生日会
10 月	おやつハロウィン仕様で提供、誕生日会
11 月	誕生日会
12 月	クリスマス会、やーるーずによる三味線演奏会、誕生日会
1 月	お正月、新年会、誕生日会
2 月	節分、バレンタインデーおやつ、誕生日会
3 月	雛祭り、誕生日会

4.　実績報告

■登録状況について

1）登録定員は 29 名　（内通い 17 名、泊り 8 名）

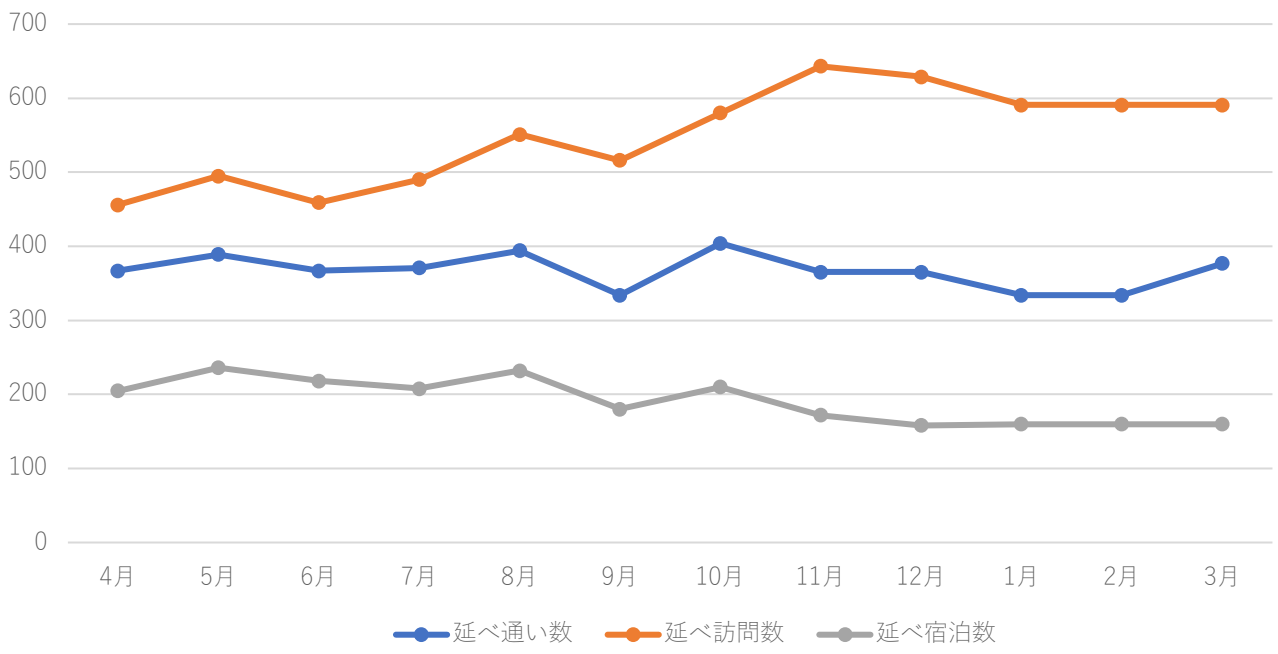
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
登録者数	19	19	19	20	20	20	21	21	21	21	22	22
増	0	0	0	1	0	0	2	0	2	1	1	0
減	0	0	0	0	0	0	1	0	2	1	0	0



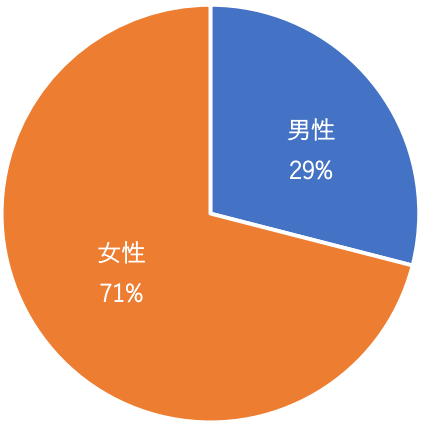
■サービス提供状況について

1）各月別延サービス利用回数及び一日当たりの平均利用回数

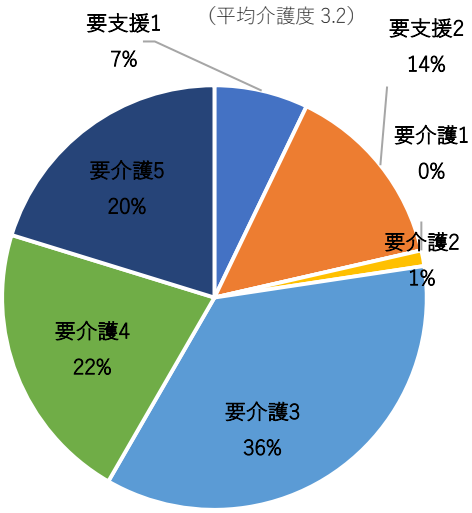
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
延べ通い数	367	389	367	371	394	334	404	365	365	334	334	377
平均数/1 日	15.2	12.5	12.2	11.9	13.0	11.0	13.0	12.0	11.0	10.7	10.7	12.6
延べ訪問数	456	495	459	490	551	516	580	643	629	591	591	591
平均数/1 日	15.2	15,9	13.0	15.8	18.0	17.0	19.0	21.0	27.0	19.0	19.0	20.7
延べ宿泊数	205	236	218	208	1232	180	210	172	158	160	160	160
平均数/1 日	6.8	7.6	7.2	7.0	7.0	6.0	7.0	6.0	5.0	5.1	5.1	5.6



■入居者男女割合



■入居者要介護割合



■総評

本年度も登録者は営業顧問の営業もあり、4 月～9 月は平均 20 名。12 月から 3 月は 23、24 名となったが、退所が続き平均 21 名の登録者数となった。見学の際に無料体験の案内やポスティング等、どうすれば利用者様が利用して頂くかを職員全員でアイデアを出し合い実行した。

感染症対策は利用者様、ご家族様の理解を得ながら職員への指導も怠らず継続した。コロナ陽性が出たが、拡大する事はなくクラスターになることはなかった。感染症対策は勿論の事職員の内部研修、ミーティング、加えて営業顧問・管理者・ケアマネ・主任・リーダーによる 5 者会議を開催。新人職員の指導の強化等提案する。

いまだに横浜いこいの里の認知度がまだまだ低いため、施設の認識の構築が必要であると考えている。職員同士思いやり支えあうチームケアをめざしていきたい。また、利用者様の楽しみが増え、横浜いこいの里で過ごしていただけるようにボランティアを活用する。各職種と連携して情報交換・情報収集し理解を求め、より一層ご利用者様に満足して頂く為努力をしていく。

特別養護老人ホーム　若葉いこいの里

1. 職員状況

(R7.3.31 現在)

	施設長	事務長	介護支援専門	生活相談員	機能訓練指導	管理栄養士	看護師	介護職	事務員	用務員	宿直	清掃員	合計
職員数	1	1	1	3	2	2	7	56	2	2	0	2	79

※職員数は非常勤（パート職員）を含む

■令和 6 年度職員雇用推移　※R7.3.31 職員在籍数⇒79 名

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
常勤	採用者数	2	3	1	3	3	0
	退職者数	0	3	1	0	0	2
非常勤	採用者数	0	0	2	0	1	0
	退職者数	0	0	2	0	0	0
		10 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月
常勤	採用者数	1	2	1	3	1	1
	退職者数	3	0	0	0	0	0
非常勤	採用者数	2	0	2	0	0	2
	退職者数	3	2	0	0	2	0

■総評

		合計
常勤	採用者数	21
	退職者数	11
非常勤	採用者数	9
	退職者数	10
離職率	*起算日 (R7.3.31 現在) ※常勤職員で計算*	*27.6%*

昨年度より離職率は減ってきている。増床に伴い採用活動は継続。常勤の介護士に加え、ケア以外の業務で介護補助（食器洗いや居室の掃除等）を導入し、時間に余裕を作る事でこれまで以上に入居者様のケアに当たる事ができたと感じている。昨年度の前半は特定技能職員の採用が続き、後半は日本人介護士・看護師の入職が続いた。又以前より、職務内容や素行に問題があった職員の退職を進めた。10 月に看護師３名の退職があり派遣や紹介を利用しながら、同月に１名と翌月に２名採用する事ができ現在７名と充足できた。

機能訓練指導員（非常勤）も１名採用する事ができ、ショートユニットの専属として配置し加算を取得する事ができた。介護支援専門員と生活相談員において変化はない。現時点では介護士・看護師共に充足しつつある。

離職防止の取り組みの一つとしてクラブ活動やスタッフ向けのイベントを開催、スタッフだけでなく家族にも職場の雰囲気、理解をしてもらう事で離職の抑止力になるのではないかと思い、イベントやク

ラブ活動の際は家族も連れてきてもらう様に取り組んでいます。これからもスタッフが楽しく働けていないと入居者や家族にも伝わると思いますので
全職員が楽しく働く為に意識して技術向上に努めて参ります。

2.　会議・委員会・研修

会議名	参加者	実施状況	内容
経営会議	本部職員/施設長/役職者	12 回/年	・施設運営に関する業務進捗・結果等の報告 ・検討事項の意思決定 ・運営に関する問題事項の改善論
運営会議	役職者/主任	12 回/年	・今後の施設運営に関する議案、検討 ・新入職者 OJT 導入
リーダー会議	役職者/ユニットリーダー	12 回/年	・役職者からの連絡事項　・ディスカッション ・各専門職からの連絡事項 ・経営会議決定事項の周知
ユニット会議	ユニットリーダー/介護職員	12 回/年	・ユニットの問題定義・解決案 ・ユニット推進のための勉強会 ・24 時間シートの作成
給食会議	役職者/ユニットリーダー	12 回/年	・サンワフーズの責任者を交えた問題定義・解決案 ・介護現場との連携確認
医務会議	役職者/看護職員	12 回/年	・医務の中での問題定義・解決案 ・業務改善策の模索

委員会	実施状況	内容
入所判定委員会	適宜/年	サービスを受ける必要性が高いと認められる者を優先的に入居させるために、入居決定過程の透明性・公平性を確保し判定を行う。
事故防止・身体拘束委員会	12 回/年	事故報告、ヒヤリの件数周知。再発防止のため事例検討会を行う。身体拘束の種類や事例検討を含めた勉強会を行う。
安全衛生委員会	12 回/年	職員健康管理・就労環境に関する事柄・施設整備に関する告
感染・褥瘡・看取り予防委員会	12 回/年 +随時	褥瘡ができるまでの原因を探り、ブレーデンスケールを行う。 感染症及び食中毒予防蔓延防止のために研修や勉強会を行う。 コロナの感染対策のため、随時開催をした
ケア向上委員会	12 回/年	入居者へのケアを見直し、検討・実践行う。
行事委員会	12 回/年	施設全体行事や、クラブ活動の立案・実践を行う。
ICT 委員会	4 回/年	介護ロボットやICT等のテクノロジーの導入により介護サービスの質を確保する。職員の負担軽減に資する生産性向上の取りくみを推進

■スキルアップ研修の開催

4 月	緊急時・事故発生時の対応マニュアル
5 月	看取り・エンゼルケアとグリーフ
6 月	口腔衛生、接遇・ハラスメント倫理及び法令遵守、ポジショニング研修
7 月	トランスファーボード/エアマットの取り扱いについて、感染症研修
8 月	膀胱留置カテーテルの仕組みについて食中毒の予防及び蔓延防止
9 月	不適切ケア虐待防止と身体拘束廃止防災・消化/避難訓練

10 月	リスクマネジメント・メンタルヘルス
11 月	事故発生又は再発防止
12 月	感染症と食中毒、身体拘束・虐待防止に関する研修、口腔衛生研修
1 月	
2 月	救命講習、防災・消化/避難訓練
3 月	認知症研修、ヒヤリハット・事故防止

■外部研修・セミナーへの参加

4 月	フォロワー視点から考えるリーダーシップ
5 月	
6 月	介護職のコンプライアンス管理、介護報酬改定に伴う留意点、介護職の為の薬の知識
7 月	介護職の医療的行為研修、介護技術指導者養成研修
8 月	
9 月	介護相談員意見交換会、千葉市地域づくり大学校

10 月	家族支援と理論と実際、2024 年報酬改定の現状
11 月	団体の課題解決とステップアップ作り、円滑な団体運営の為のファシリテーション
12 月	重度介護技術研修、重度移乗介助技術研修～臥床介助と移乗介助の理論と技術のポイント
1 月	重度介護技術研修
2 月	介助量の多い移乗介助技術研修
3 月	・DISC 研修、虐待防止と身体拘束廃止研修、科学的介護情報システム（life）、中堅職員の為の接遇再確認、チームビルディング研修、アセッサー研修

3.　行事・レク

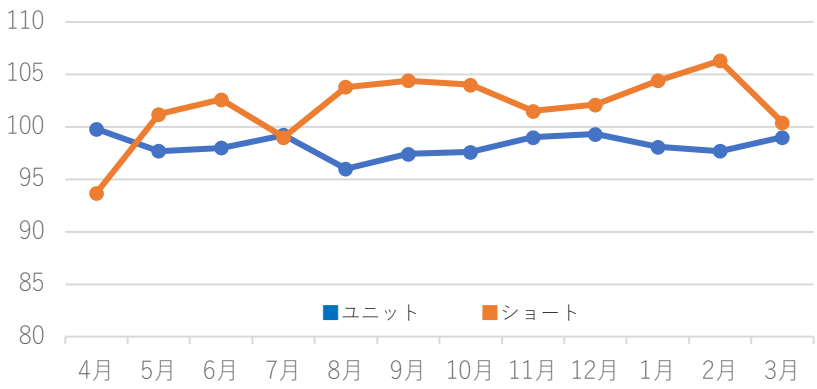
4 月	春のパン祭り　習字クラブ
5 月	こどもの日　マッサージ体験　カラオケ
6 月	ダンスイベントショー　生果物イベント
7 月	七夕　流しそうめん
8 月	スイカ割
9 月	敬老会
10 月	感謝祭
11 月	ハロウィンイベント・習字クラブ・焼き芋祭り
12 月	クリスマス・カラオケ忘年会・お正月飾りと絵馬作成
1 月	年始のお屠蘇まわり・珈琲喫茶
2 月	節分イベント・わくわくバレンタイン
3 月	ひな祭り・春のお茶会

4.　実績報告

■稼働率推移・・・安定した経営を目指すため、年間常時 95%以上

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
特養	延べ日数	2395	2666	2587	2705	2618	2571
(定員:88 名)	稼働率	99.8%	97.7%	98.0%	99.2%	96.0%	97.4%
ショート	延べ日数	562	690	677	675	708	689
(定員:22 名)	稼働率	93.7%	101.2%	102.6%	99.0%	103.8%	104.4%
		10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
特養	延べ日数	2663	2614	2708	2676	2408	2702
(定員:88 名)	稼働率	97.6%	99.0%	99.3%	98.1%	97.7%	99.0%
ショート	延べ日数	709	670	696	712	655	685
(定員:22 名)	稼働率	104.0%	101.5%	102.1%	104.4%	106.3%	100.4%

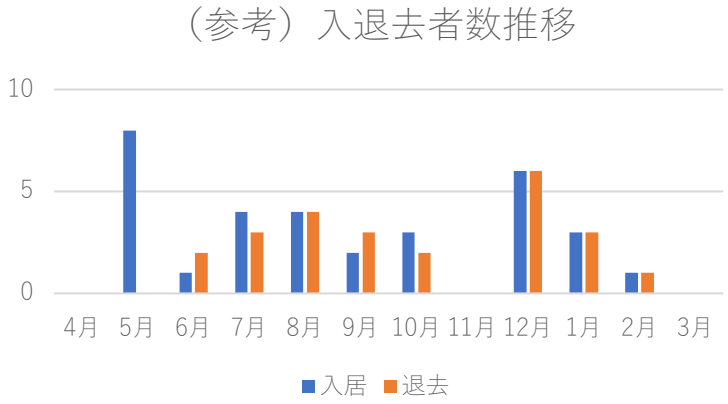
（参考）稼働率推移



R 6 年度実績		合計
特養	延べ日数	31313
(定員:88 名)	稼働率	98.2%
ショート	延べ日数	8128
(定員:22 名)	稼働率	102.0%

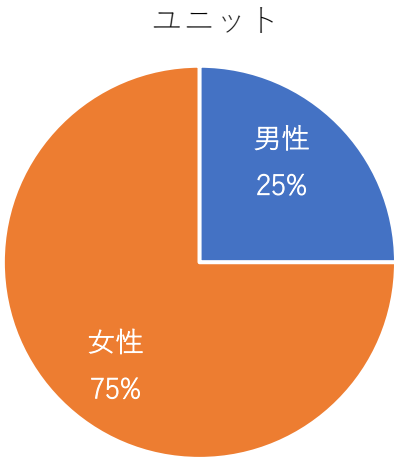
■入退去状況

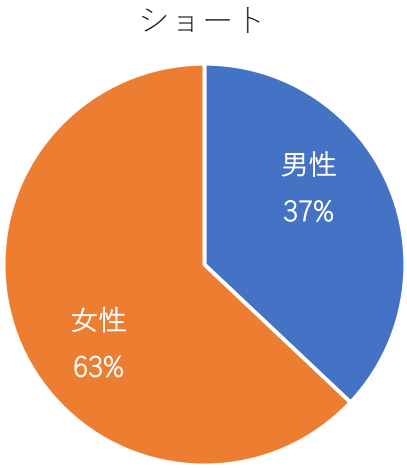
		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
特養	入居	0	8	1	4	4	2
	退去	0	0	2	3	4	3
		10 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月
特養	入居	3	0	6	3	1	0
	退去	2	0	6	3	1	0



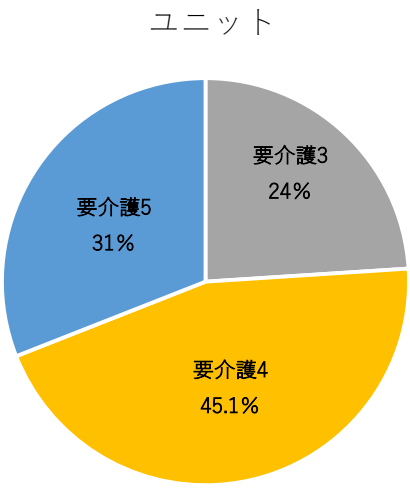
R６年度入退去者		合計
特養	入居	32
	退去	24

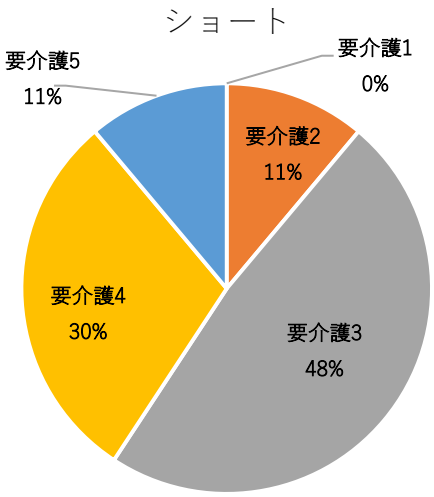
■入居者（利用者）男女割合（R7.3.31 現在）



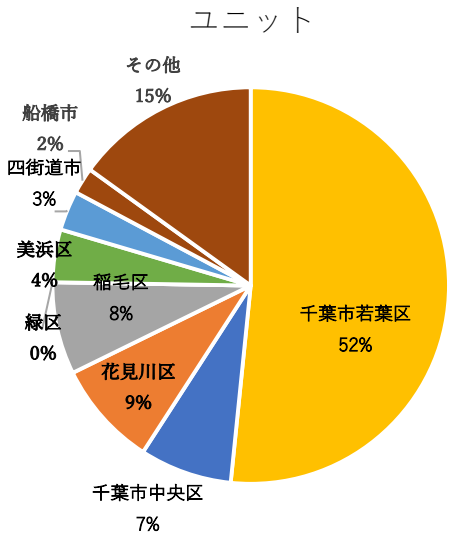


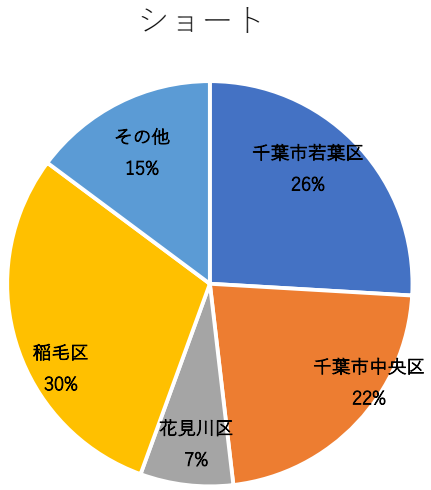
■入居者要介護割合（R7.3.31 現在）



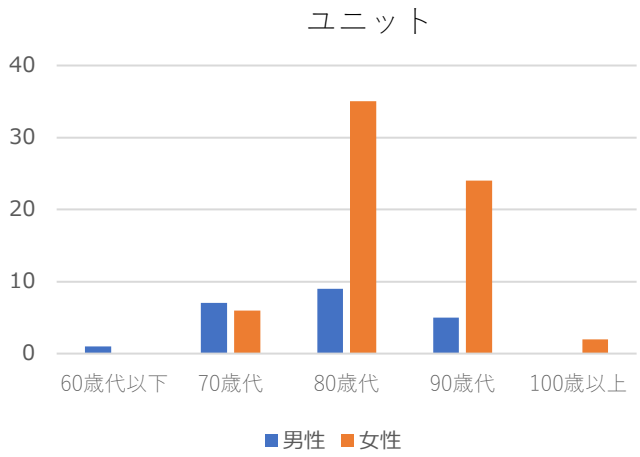


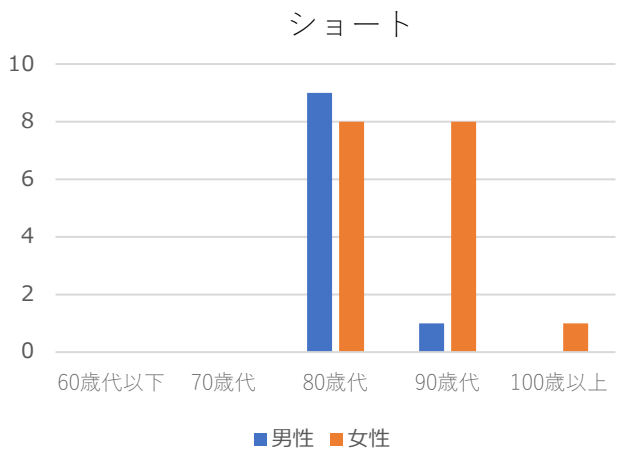
■保険者別入居者（利用者）割合（R7.3.31 現在）





■入居者（利用者）男女年齢別状況（R7.3.31 現在）





■総評

昨年度は年始から能登の地震災害による避難所へのボランティア活動に参加したり、5 月には 10 床増床とあわただしく始まった年だった。10 名の入所に向け半年程前から相談員を中心に待機者への連絡や FAX 営業を行い看護師やケアマネと協力しながら 5 月 1 日には 10 名がスムーズに入所する事ができた。増床に伴いスタッフの増員に向けた取り組みも同時進行で行ってはいたが、人員の確保は思う様にいかず、少ない人員でシフトを回し残業も増えてしまい負担をかけてしまったが稼働率を落とすことなく頑張ってくれた事は評価できる。

10 月には地域を交えての感謝際を開催した。外国人スタッフによる多国籍料理を地域の方々に無料で提供した。100 名以上の方々が来設していただき初の感謝祭は大盛況に終わり、多くの方々の楽しそうな笑顔を見る事ができた事で今年度も開催意欲が高まった。イベントや施設内の様子をインスタや SNS を通して施設のアピールは継続出来ており、若葉いこいの里のウリの一つとなっていると感じている。

昨年度もコロナ感染が発症した。同時にインフルエンザ罹患者もおり、看護師指示・初動の下、初期段階でユニットを閉鎖し感染対策を実施した。結果2週間ほどで終息できた事は一人一人が感染予防対策に対する意識が根付いてきたように思いました。

昨年度はイベントを中心とした運営になっており、課題への取り組み内容が薄いと感じている。今年度から本部エリアマネージャーや人財育成課が立ち上がり、施設の課題や育成に力を借りつつ、一つ一つ向き合いながら問題解決できればと思っている。

又自由な面会を実施している中でご家族様からのご意見やご要望にできるだけ応えつつ選ばれる施設を目指していきたい。